

【保護者アンケートの総評（結果の特徴）】

1. 学校経営について

本校の教育理念・方針は、入学前のオープンキャンパス、新入生保護者説明会、及び進路ガイダンス、各宿泊行事前の説明会、保護者進路説明会などで説明を行い、理解を促している。学校からの連絡事項は、生徒にプリントを配布すると共に必ずホームページに掲載している。年々ホームページを閲覧している保護者が増加しているが、見にくい分りにくいという声が上がっているため早急に対処する必要がある。

2. 学習について

日常の学習をサポートする共通テスト、学習会（テスト前の勉強会）や補習（検定試験補習）などが計画的に実施していることは理解してもらっている。また、授業においては基礎基本を重点とした学習が展開していることも理解してもらっている。ICT機器を活用した授業がなかなか実施されていないので、これからは全ての教科において実施するように教員研修を行い生徒の学習指導に当たる。

3. 教育指導

学校では、生徒の学習、成績、クラブ、友人関係（いじめ）、進路などの相談を受け止めるために毎月1回個人懇談を実施している。懇談では、共感、激励、アドバイスそして時には注意することがある。この取り組みが生徒、保護者との信頼関係を構築している。特に指導に当たっては、どの先生が指導しても公平で公正な態度であることは保護者に理解してもらっている。新入生の人間関係のトラブル防止やスマホ依存症にならないよう1学期に学習を行い、全学年には長期休暇前に業者の方を招いてスマホ講習会を実施している。

4. 学校生活について

学校は生徒の安心安全を第一に考え、宿泊行事、校外学習などを実施している。日ごろから生徒の心身の健康に注意している。クラスでの居心地がいい、友人関係が良好である、学校が楽しい、充実していると感じることは生徒にとっても保護者にとっても最も大切なことだ。宿泊行事を通して生徒の自主・自立、他者との協調性を養い育て、一つの合宿が終われば階段を一段登るように人間的に成長することが望ましい。このように保護者は望んでいると受け止めている。

5. 自主活動について

多くの生徒は、中学時代クラブ活動に参加せず、友達との交流も少なくおとなしい性格である。そんな生徒の集団なので、高校に入学してすぐにクラブ活動に参加、生徒会に参加という訳には行かない。しかし、積極的な自分に変えるためにもクラブ活動に参加して欲しいと願っている。教員や保護者は、生徒の背中を押す必要がある。

6. 環境整備について

学校では、生活指導部が中心になって美化活動に力を入れている。日ごろの清掃活動、毎月の大掃除やオープンキャンパス前日の大掃除、月1回の美化週間、定期考査最終日の奉仕活動を実施している。このような活動を知らない保護者がいると思われる。生徒たちは嫌がらずに清掃や奉仕活動に励んでいる。保護者懇談時に保護者から「学校がきれいですね。」という声を聞くが、もっと多くの方から「きれいだ」と言ってもらえるように今まで以上に美化活動に力を入れて行こうと思う。

7. 新型コロナ感染防止対策について

保護者は、新型コロナ感染防止対策をよく理解し協力的である。生徒が付ける「健康日誌」を保護者も同じように付けていると聞く。生徒の体調について保護者から相談あり、最善の対策を講じている。発熱、風邪症状、ワクチン接種日、ワクチン後の副反応など出席停止になる措置が多くあり保護者には理解してもらっている。その他に食事前の手洗い、消毒、食事の仕方、使用後机、椅子の消毒なども保護者に理解してもらっていると思われる。